

認知症予防・支援②

認知症に係るリスクが高い(基本チェックリストで認知症関連の3項目のいずれかが該当する、または長谷川式知能評価スケールが20点以下)者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析、および日常生活自立度の維持・改善の分析

○運動器の機能向上サービスおよび口腔機能の向上サービスを受けている者は、改善しやすい。

・特定高齢者では、運動器の機能向上サービスおよび口腔機能の向上サービスを実施している場合は、基本チェックリスト(認知症関連3項目)の改善のオッズ比が有意に1より大。

	特定高齢者						要支援者					
	認知症高齢者の日常生活自立度		基本チェックリスト(認知症関連項目)		長谷川式簡易知能評価スケール		認知症高齢者の日常生活自立度		基本チェックリスト(認知症関連項目)		長谷川式簡易知能評価スケール	
	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値
通所型介護予防事業												
非実施	1.00		1.00				—		—		—	
実施	2.56(0.98-6.67)	0.05	1.92(0.39-10.00)	0.42								
訪問型介護予防事業												
非実施	1.00		1.00		1.00		—		—		—	
実施	1.89(0.85-4.17)	0.12	0.81(0.26-2.50)	0.72	0.20(0.05-0.76)	0.02						
運動器の機能向上												
非実施	1.00		1.00		1.00		—		—		—	
実施	0.93(0.56-1.56)	0.8	3.45(1.25-9.09)	0.02	4.17(0.91-20.00)	0.07						
栄養改善												
非実施	1.00		1.00		1.00		—		—		—	
実施	0.56(0.34-0.91)	0.02	0.35(0.13-1.00)	0.05	2.59(0.64-11.11)	0.18						
口腔機能の向上												
非実施	1.00		1.00		1.00		—		—		—	
実施	0.93(0.61-1.59)	0.94	2.86(1.02-7.69)	0.05	0.70(0.18-2.70)	0.6						
認知症予防・支援												
非実施	1.00				1.00		—		—		—	
実施	4.35(0.57-33.33)	0.16			0.26(0.03-2.04)	0.2						
介護予防通所介護												
非実施	—		—		—		1.00		1.00		1.00	
実施							0.90(0.75-1.08)	0.26	0.94(0.67-1.32)	0.73	0.95(0.67-1.35)	0.77
介護予防通所リハビリテーション												
非実施	—		—		—		1.00		1.00		1.00	
実施							0.82(0.67-0.99)	0.04	0.88(0.62-1.28)	0.52	1.00(0.68-1.47)	0.99
介護予防訪問介護												
非実施	—		—		—		1.00		1.00	0.56	1.00	
実施							0.93(0.77-1.12)	0.43	1.11(0.79-1.56)		1.16(0.80-1.67)	0.43

※年齢、性別、同居者、ふだんの過ごし方、疾患既往歴、基本チェックリスト得点、GDS15、長谷川式簡易知能評価スケール、認知的活動、ソーシャルサポートを投入して分析

うつ予防・支援①

うつに係るリスクが高い(基本チェックリストでうつ関連の5項目中2項目以上該当する、GDS15スコアで11点以上である)者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○ふだんの過ごし方で役割がある者は、改善しやすい。

・要支援者では、ふだんの生活で役割がある場合は、基本チェックリスト(うつ関連項目)の改善のオッズ比が有意に1より大。

○ソーシャルサポートがある(日常生活を支援してくれる人、具合が悪いときに病院に連れて行ってくれる人がいる)者は、改善しやすい。

・特定高齢者では、具合が悪いときに病院に連れて行ってくれる人がいる場合に、基本チェックリスト(うつ関連項目)およびGDS15の改善のオッズ比が有意に1より大。

・要支援者では、日常生活を支援してくれる人がいる場合に、基本チェックリスト(うつ関連項目)の改善のオッズ比が有意に1より大。

	特定高齢者				要支援者			
	基本チェックリスト (うつ関連項目)		GDS15		基本チェックリスト (うつ関連項目)		GDS15	
	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値
ふだんの過ごし方(役割)	1.19(0.84-1.70)	0.332	0.51(0.16-1.64)	0.257	1.24(1.02-1.51)	0.034	0.89(0.55-1.44)	0.628
同居者	0.86(0.57-1.29)	0.473	0.61(0.21-1.81)	0.372	0.87(0.71-1.07)	0.189	0.76(0.49-1.18)	0.22
困った時の相談相手	1.68(0.46-6.15)	0.437	3.97(0.47-33.72)	0.207	1.03(0.66-1.60)	0.899	1.11(0.54-2.27)	0.779
身体の具合が悪いときの相談相手	0.97(0.31-2.99)	0.957	5.59(0.65-48.19)	0.117	1.03(0.63-1.68)	0.900	0.50(0.23-1.11)	0.089
日常生活を支援してくれる人	1.18(0.60-2.31)	0.627	0.75(0.15-3.85)	0.732	1.53(1.09-2.16)	0.014	1.34(0.70-2.58)	0.372
具合が悪いときに病院に連れて行ってくれる人	2.48(1.05-5.87)	0.039	7.95(1.10-57.63)	0.040	1.23(0.86-1.77)	0.250	0.55(0.30-1.04)	0.067
寝込んだときに身のまわりの世話をしてくれる人	0.69(0.36-1.33)	0.268	0.50(0.11-2.19)	0.354	1.11(0.83-1.48)	0.483	0.97(0.56-1.70)	0.922

※上記の他、年齢、性別、要介護度、基本チェックリスト得点、GDS15を同時に投入

うつ予防・支援②

うつに係るリスクが高い(基本チェックリストでうつ関連の5項目中2項目以上該当する、GDS15スコアで11点以上である)者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析。なお、基本チェックリストでの分析対象者とGDS15での分析対象者は大きく異なる。

○運動器の機能向上サービスを受けている者は、GDS15スコアが改善しやすい。

○特に、うつの程度が軽度の者は、運動器の機能向上サービスの実施により改善しやすい。

- ・要支援者では、運動器の機能向上サービスを実施している場合は、GDS15スコアの改善のオッズ比が有意に1より大。
- ・特に、GDS15スコアが11点の者が運動器の機能向上サービスを実施している場合、GDS15スコアの改善のオッズ比が有意に1より大。

※一部のサービスで、基本チェックリストとGDS15スコアで結果が異なっているが、両指標の分析対象者が大きく異なっていることによるものと考えられる。

	特定高齢者				要支援者			
	基本チェックリスト (うつ関連項目)		GDS15		基本チェックリスト (うつ関連項目)		GDS15	
	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値
通所型介護予防事業	0.50(0.29-0.86)	0.013	0.91(0.32-2.63)	0.861	—	—	—	—
訪問型介護予防事業	0.74(0.37-1.48)	0.390	1.00(0.19-5.39)	0.998	—	—	—	—
介護予防通所介護	—	—	—	—	0.95(0.76-1.18)	0.629	1.40(0.89-2.19)	0.147
介護予防通所リハビリテーション	—	—	—	—	0.83(0.65-1.07)	0.159	1.28(0.76-2.15)	0.348
介護予防訪問介護	—	—	—	—	0.88(0.71-1.09)	0.252	0.78(0.51-1.20)	0.251
運動器の機能向上	1.30(0.73-2.31)	0.379	0.75 (0.23 - 2.49)	0.64	0.93(0.76-1.13)	0.441	1.83(1.20-2.78)	0.005
栄養改善	0.63(0.38-1.05)	0.077	0.81 (0.31 - 2.53)	0.729	0.96(0.45-2.05)	0.916	3.05(0.62-15.04)	0.171
口腔機能の向上	1.32(0.82-2.15)	0.254	1.34 (0.42 - 4.28)	0.626	0.85(0.40-1.79)	0.667	0.52(0.12-2.30)	0.385
うつ予防・支援	1.52(0.44-5.22)	0.504	2.71(0.23-31.56)	0.427	—	—	—	—
アクティビティ	—	—	—	—	1.23(0.97-1.55)	0.085	1.21(0.73-2.00)	0.469

	要支援											
	GDS15;11点(軽度)						GDS15;12点以上					
	サービス利用				オッズ比 (95% CI)	P-値	サービス利用				オッズ比 (95% CI)	P-値
あり	改善(%)	なし	改善(%)	あり			改善(%)	なし	改善(%)			
運動器の機能向上	75	68.0	101	48.1	2.59(1.30-5.14)	0.007	100	44	190	38.4	1.52(0.88-2.63)	0.136
栄養改善	27	59.3	149	56.4	8.01(0.69-93.15)	0.096	34	50	256	39.1	0.95(0.07-12.79)	0.971
口腔機能の向上	30	53.3	146	57.5	0.16(0.02-1.60)	0.119	37	51.4	253	38.7	1.87(0.16-21.94)	0.618
アクティビティ	38	55.3	138	57.2	1.11(0.47-2.64)	0.806	67	46.3	223	38.6	1.34(0.71-2.52)	0.367

※上記の他、年齢、性別、要介護度、基本チェックリスト得点、GDS15を同時に投入

まとめ ①

◎属性・介護予防サービス利用と介護予防に係る各種指標の推移との関連の分析について、ロジスティック回帰分析によって分析を行ったところ、主な結果は、以下のとおりであった。ただし、今回分析を行ったデータは、保健医療技術を評価するための最も妥当な方法であるランダム化比較試験(RCT)ではなく、前向きコホート研究のデータであり、結果の解釈に当たっては、慎重でなければならない。

1. 全体分析

- ふだんの過ごし方で役割がある者は維持・改善しやすい。
- 認知機能が高い者は、維持・改善しやすい。
- 認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は、維持・改善しやすい。

2. 運動器の機能向上

- ふだんの過ごし方で役割のある者は改善しやすい。
- 基本チェックリスト得点が低い(生活機能の程度が高い)ほど改善しやすい。
- 認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。
- 要支援者に対する介護予防通所介護(運動器の機能向上サービス)の実施者は改善しやすい。
- 実施回数が一定の回数以上の場合で維持・改善しやすい。
- 1回の実施時間が一定時間以上の場合で維持・改善しやすい。
- 属性とサービスとの関係は、以下のとおりとなった。
 - ・脳血管疾患の既往がない者では、マシンによる筋力増強訓練で維持・改善しやすい。
 - ・認知症の既往がない者では、日常生活動作に関わる訓練で維持・改善しやすい。
 - ・認知機能が低下していない者では、マシンによらない筋力増強訓練が維持・改善しやすい。
 - ・認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)では、日常生活動作に関する訓練及びレクリエーション・ゲームで維持・改善しやすい。
 - ・要支援者よりも特定高齢者の方が、すべての内容で維持・改善しやすい。

3. 栄養改善

- 認知症の既往歴のない者及び高齢による衰弱の既往歴のない者では、改善しやすい。
- 栄養改善サービスの利用による改善のオッズに違いはなかった。
- 栄養改善サービスを利用した者を対象とした、属性やサービスと栄養関連の指標の推移との関連については、栄養改善サービスの利用者が少ないことから分析ができなかった。

まとめ ②

4. 口腔機能の向上

- 基本チェックリスト得点が低い(生活機能の程度が高い)者は改善しやすい。
- 認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。
- 介護予防通所介護、介護予防通所リハビリテーションの口腔機能の向上サービスの実施者は改善しやすい。
- 専門職による個別的サービスの1回当たりの実施時間が10分以上30分未満の場合に維持・改善しやすい。

5. 閉じこもり予防・支援

- ふだんの過ごし方で役割がある者は改善しやすい。
- ソーシャルサポートがある(困ったときの相談相手、体の具合が悪いとき病院に連れて行ってくれる人がいる)者は、改善しやすい。
- 基本チェックリスト得点が低い(生活機能の程度が高い)者は改善しやすい。
- 認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。
- 通所サービスを受けている者は、改善しやすい。特に、運動器の機能向上サービスやアクティビティサービスを受けている者は、改善しやすい。

6. 認知症予防・支援

- 基本チェックリスト得点が低い(生活機能の程度が高い)者は改善しやすい。
- 認知機能が低下していない者は改善しやすい。
- 認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。
- 運動器の機能向上サービスおよび口腔機能の向上サービスを受けている者は、改善しやすい。

7. うつ予防・支援

- ふだんの過ごし方で役割がある者は改善しやすい。
- ソーシャルサポートがある(日常生活を支援してくれる人、具合が悪いときに病院に連れて行ってくれる人がいる)者は、改善しやすい。
- 運動器の機能向上サービスを受けている者は、GDS15スコアが改善しやすい。特に、うつの程度が軽度の者は、改善しやすい。